

# アトラス 都心で `異色コラボ`

きっかけは昨年末。海外ビジネスコーディネーターでもある松多社長が、海外投資商談で、たまたま面談した投資会社代表がクリニックの盟主理事だった。

理事は商談とともに松多社長の療術師の肩書や系列も含め全国十数力所に広がる整体院の展開などに注目。約六百もの診療所がひしめく、激戦

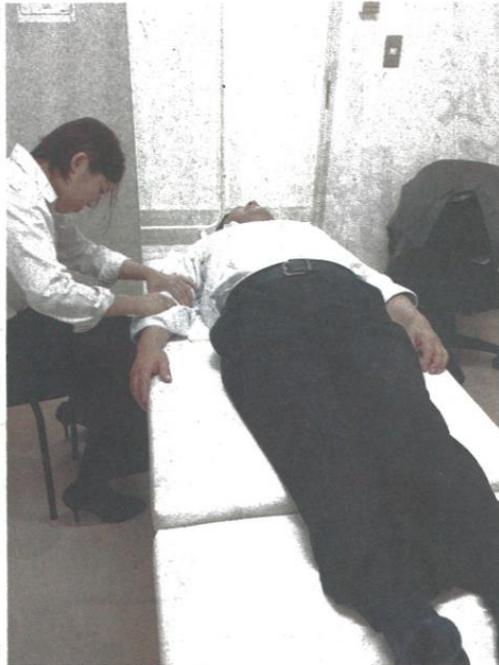
出張先は東京都新宿区で医療法人社団盟生会が運営する内科の東新宿クリニックで、民間資格の療術師でもある松多伸悟社長が五月から月数回のペースで出張。空いた診察室を使い、一回八千六百四十円で客にサービスマン提供している。クリニックを訪れる患者のほか、医師や看護師も利用。現在はリピート客が二十人程度できるなど、毎回予約でいっぱいという。

# クリニックで出張整体

整体院運営、健康補助食品開発などのアトラス（石川県小松市）は、クリニック内に出張して整体サービスマンを提供する新たな試みを東京で始めた。医療施設と、医療行為でない癒やしを提

供する整体院が手を組むのは「異例」（同社）という。患者と顧客を相互に紹介し合える利点があり、同社は将来的にスタッフの常駐化も視野に入れている。（網信明）

## スタッフ常駐化視野



アトラスがクリニックの一室で提供する出張整体サービス=東京都新宿区で

区の新宿区で、同業者との違いを打ち出すために整体サービスマンの提供をもちかけ、既にクリニック内で試行しているエステティックサービスマンにも展開する考えを伝えた。

当初は「医療機関と整体院は似て非なる存在で、相いれない関係」と認識していた松多社長は戸惑ったが、首都圏から石川県までサービスマンを求めて訪れる得意客が百人以上

いるほか、東京でも一定の需要が見込めて新規顧客開拓にもつながると考え、快諾した。厚生労働省は医療機関を「治療のための施設」と定義。「整体は癒やしのサービスマンで医療行為ではない」（同省）が、クリニックなどを監督する地元保健所が許可すれば同じ施設内でサービスマン提供できるといふ。新宿区保健所も、今回は異色の取り合わせながら「医師が妥当と判断すれば問題はない」との見解だ。

好調な滑り出しにクリニック側は「常駐してもらおうとありがたい」との考え。松多社長も「クリニックでのリピート客を百人程度まで増やした上で、現在養成中の療術師が一人前になる来年をめどに常駐を検討したい」と話している。